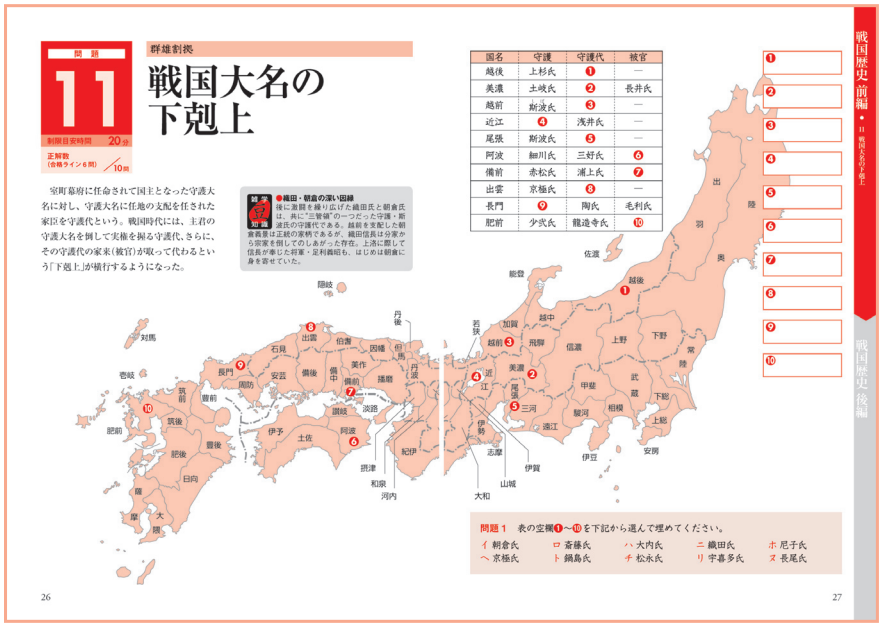
常識 大人もこどもも 脳の鍛錬 戦国歴史 ＋雑学豆知識 ドリル



問題 11

制限目安時間 20分

正解数（合格ライン6問） ／10問

群雄割拠

戦国大名の下剋上

室町幕府に任命されて国主となった守護大名に対し、守護大名に任地の支配を任された家臣を守護代という。戦国時代には、主君の守護大名を例して実権を握る守護代、さらに、その守護代の家来（被官）が取って代わるという「下剋上」が横行するようになった。

雑学豆知識 ●織田・朝倉の深い因縁
後に激闘を繰り広げた織田氏と朝倉氏は、共に「三管領」の一つだった守護・斯波氏の守護代である。越前を支配した朝倉義景は正統の家柄であるが、織田信長は分家から宗家を倒してのしあがった存在。上洛に際して信長が率いた将軍・足利義昭も、はじめは朝倉に身を寄せていた。

国名	守護	守護代	被官
越後	上杉氏	❶	—
美濃	土岐氏	❷	長井氏
越前	斯波氏	❸	—
近江	❹	浅井氏	—
尾張	斯波氏	❺	—
阿波	細川氏	三好氏	❻
備前	赤松氏	浦上氏	❼
出雲	京極氏	❽	—
長門	❾	陶氏	毛利氏
肥前	少式氏	龍造寺氏	❿

問題1 表の空欄❶～❿を下記から選んで埋めてください。

イ 朝倉氏　ロ 斎藤氏　ハ 大内氏　ニ 織田氏　ホ 尼子氏
ヘ 京極氏　ト 鍋島氏　チ 松永氏　リ 宇喜多氏　ヌ 長尾氏

常識 大人もこどもも 脳の鍛錬 江戸歴史 ＋雑学豆知識 ドリル

問題 23

制限目安時間 20分

正解数（合格ライン4問） ／7問

太平の世の明暗

松尾芭蕉『奥の細道』刊行

芭蕉の経歴

西行に心酔する松尾芭蕉は伊賀藩堂家の❶無足人の子として伊賀上野でまれた。藩堂藩侍大将の嫡子で俳人の藩堂良忠に仕えていたが、良忠が死去すると、延宝3(1675)年には江戸に上って俳諧で生計を立てるようになる。だが江戸で流行っていた俳句は、芭蕉が目指すものとは違って、滑稽や楽しさを求めるものだった。金銭欲と名声欲にとらわれる俳壇に失望した芭蕉は、住まいを日本橋から深川に移して、隠棲生活をした。これを慕った弟子が集い、その1人が植えた庭のバショウが見事なことから、ここを『芭蕉庵』と呼ぶようになり、彼自身も、号を『芭蕉』とするようになった。

奥州へ旅立つ

その芭蕉が芭蕉庵を引き払って奥の細道に旅立ったのは、元禄2(1689)年3月27日。弟子の河合曾良を伴っていた。その移動遠度は、異様なほど速く、出身地や仙台藩での行動から、曾良を伴う慕命を負った『隠密説』なども語られる。『奥の細道』の記載と、曾良が記した旅日記の『曾良旅日記』との間に多くの相違点があることから、スパイ説が疑われるようになったのである。だがいずれにしても、芭蕉が多くの名作を残したことは事実である。芭蕉の代表的紀行文には奥の細道以外に、『野ざらし紀行』、『鹿島紀行』、『笈の小文』、『更科紀行』などがある。芭蕉は、約5ヶ月間に ❷ キロほどを歩き通して、8月下旬に結びの地となった ❸ に到着している。『奥の細道』は、元禄15(1702)年に刊行された。

松尾芭蕉

雑学豆知識 ●芭蕉は忍者か
『奥の細道』紀行は、仙台藩の様子を探ることが目的だったともいわれる。『芭蕉隠密説』が、根強く残るのである。異様な旅行日程から、疑いもったものだが、芭蕉の生母は百地氏の娘、門人のひとり土芳の本名は服部半左衛門保英。忍者説を探るには、かなりおもしろい符合かも知れない。

問題1 ❶無足人とはなんでしょう。
イ 足軽　ロ 郷士　ハ 御用商人　ニ 忍者

問題2 ❷芭蕉が『奥の細道』の行程で歩いたキロ数はどれぐらいでしょう。
イ 1400　ロ 1800　ハ 2400　ニ 2800

問題3 ❸『奥の細道』の結びの地はどこでしょう。
イ 大垣　ロ 大津　ハ 堅田　ニ 京都

問題4 芭蕉の句とそれが詠まれた地名を書いてください。

夏草や　兵（つわもの）どもが　夢のあと
一家に　遊女もねたり　萩と月
閑（しずか）さや　岩にしみ入　蝉の声
むざんやな　甲（かぶと）の下の　きりぎりす